

茨城工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	機械設計製図Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0103			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械システム工学科(2016年度以前入学生)			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	ポンプの設計 (パワー社)						
担当教員	柴田 裕一						
到達目標							
1.遠心ポンプの基本構造を理解する。 2.遠心ポンプの設計仕様書を作成する。 3.設計仕様書を基に製図を行う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	遠心ポンプの基本構造を理解する。			遠心ポンプの基本構造がほぼ理解できる。		遠心ポンプの基本構造を理解していない	
評価項目 2	遠心ポンプの設計仕様書を適切に作成する。			遠心ポンプの設計仕様を作成できる。		遠心ポンプの設計仕様書が不十分である。	
評価項目 3	設計仕様書を基に製図を仕上げる。			設計仕様書に基づいて図面を作成できる。		設計仕様書に基づいて製図を完成できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A)(イ) 学習・教育到達度目標 (B)(二) 学習・教育到達度目標 (B)(口)							
教育方法等							
概要	機械工学科における設計製図のまとめとして、この授業では遠心ポンプの設計を行う。最初にポンプ設計の課題を通して設計仕様書をまとめ、授業の後半では具体的に図面を作成する。						
授業の進め方・方法	ポンプの仕様を決めるため、設計仕様書を作成する。その際、教科書を用いて設計課題を理解する。設計仕様書が完成したら計画図を描く。さらに計画図を基に部品図を完成する。						
注意点	ポンプ設計では、設計および製図のまとめなので、これまでに学習した内容をよく復習しておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ポンプの概要		ポンプの分類を理解する		
		2週	遠心ポンプの計画		遠心ポンプによる揚水設備と理論揚程を理解する		
		3週	遠心ポンプ設計の知識		相似則と比速度を理解する		
		4週	遠心ポンプの損失		ポンプ内の各種損失を理解する		
		5週	遠心ポンプの推力		軸動力と軸推力を理解する		
		6週	キャビテーション現象		キャビテーションを理解する		
		7週	(中間試験)				
		8週	遠心ポンプの諸性質と性能		ポンプの振動と騒音と特性曲線を理解する		
	2ndQ	9週	遠心ポンプの吐き出し量		吐出し量とポンプ口径を理解する		
		10週	遠心ポンプの全揚程		全揚程の計算をする		
		11週	遠心ポンプの選定		ポンプ形式の選定をする		
		12週	理論的、経験的考察		理論的および経験的に決定する		
		13週	羽根形状の決め方		羽根形状の決め方を理解する		
		14週	案内羽根の設計		案内羽根を設計する		
		15週	(期末試験)				
		16週	総復習		前期の内容を復習する		
後期	3rdQ	1週	ケーシングの設計 (1)		水返し通路を設計する		
		2週	ケーシングの設計 (2)		吸い込みケーシングの設計をする		
		3週	ケーシングの設計 (3)		吐き出しケーシングの設計をする		
		4週	軸		軸の設計をする		
		5週	軸受け		軸受けの形状を決める		
		6週	その他の部品の設計		パッキンの数などを決める		
		7週	(中間試験)				
		8週	組立図 (1)		組立図を作成する		
	4thQ	9週	組立図 (2)		組立図を作成する		
		10週	組立図 (3)		組立図を作成する		
		11週	デリバリーケーシング (1)		デリバリーケーシングを製図する		
		12週	デリバリーケーシング (2)		デリバリーケーシングを製図する		
		13週	流体機械 (1)		流体機械の演習問題を解いて理解する		
		14週	流体機械 (2)		流体機械の演習問題を解いて理解する		
		15週	(期末試験)				
		16週	総復習		後期の内容を復習す		
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	60	0	0	0	0	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
專門的能力	40	60	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0